



プロユースに耐え得る
コンパクト強力陶芸ろくろ

RK-2Pプロ型

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください



2. 停止

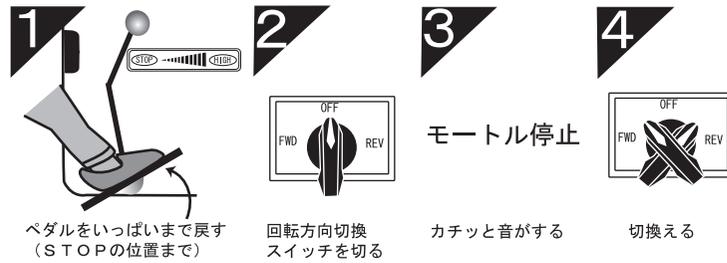


- ①変速ペダル(レバー)をいっぱい (STOPの位置まで)戻すと停止します。
- ②スイッチをOFFにします。

※本機は、トラクションドライブ方式の変速機構を採用しています。そのため、ゴムリング式のような摩耗の心配もなく、作業中断時でも0回転まで戻す必要はありません。

3. 回転方向の切換え

運転途中で、回転方向を変える時は、いったんペダルをSTOPにし、スイッチをOFFにします。しばらく(約30秒)たってモーターが完全に止まってから(カチッと音がします)スイッチを切換えます。(三相のモーターの時はカチッという音はしません)

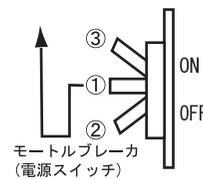


4. モーターブレーカ(電源スイッチ)が落ちた場合

負荷をかけすぎた時に、モーターを焼損から守る為、モーターブレーカを装備しています。

過負荷運転が長く続きますと、モーターブレーカが落ちます。運転を再開される時は、以下のようにしてください。

- ①モーターブレーカが落ちた状態
- ②一旦「OFF」側いっぱいまでノブを降ろす
- ③「ON」にする



5. 0回転調整

ペダル停止位置でも、テーブルが正転又は逆転する場合は、次の要領で<0回転の調整>をしてください。

● やや正転する場合

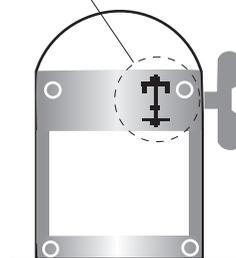
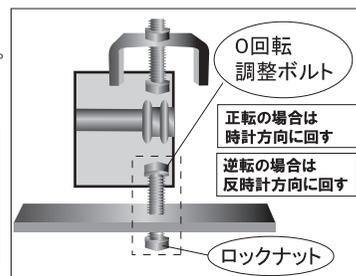
- a)ロックナットを緩め、0回転調整ボルトを時計方向1/4回転(3時の位置まで)程度回します。
- b)ロックナットを締め、ろくろを正常な状態に据付けて、0回転になっているか確認してください。

※正常な状態に戻るまで a)⇒b) の作業を繰り返します。

● やや逆転する場合

- a)ロックナットを緩め、0回転調整ボルトを反時計方向1/4回転(9時の位置まで)程度回します。
- b)ロックナットを締め、ろくろを正常な状態に据付けて、0回転になっているか確認してください。

※正常な状態に戻るまで a)⇒b) の作業を繰り返します。
※0回転の確認は、必ずろくろを正常な状態に据付けて行ってください。倒した状態ですと、回転数と回転方向が異なります。



※ろくろを上記のように倒した状態で作業を行ってください。

4. 保守/交換



注意

スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

掃除・点検・調整・交換の場合や長期間ご使用にならない場合は、スイッチを切るだけでなく電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やけがをされるおそれがあります。



注意

水洗い厳禁

1. ろくろ自体の清掃は雑巾で拭くようにして、水洗いは避けてください。
2. ドベ受けは、ろくろからはずして水洗いしてください。



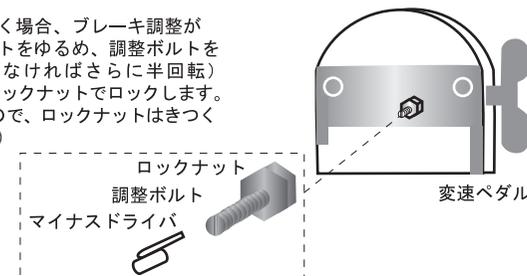
注意

長期間使用されないとき

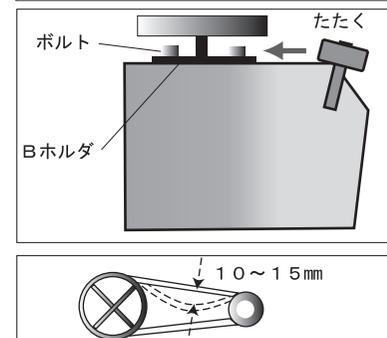
内部部品の錆などによる支障を防ぐため、月に1度程度運転してください。(ターンテーブルを回転させてください。粘土の使用は不要です。)

変速ペダルのブレーキ調整

運転中に、変速ペダルが自然に動く場合、ブレーキ調整が必要です。スパナ等でロックナットをゆるめ、調整ボルトをマイナスドライバで半回転(利かなければさらに半回転)締めてください。締め終わったらロックナットでロックします。(調整ボルト破損のおそれがあるので、ロックナットはきつく締めすぎないようにしてください)



ベルト調整方法



使用中、ターンテーブルの回転力が落ちていたり感じたら、ベルトの張りを調整してください。

- ①Bホルダのボルトをゆるめます。
- ②Bホルダを矢印の方向へハンマーで軽くたたいて2~3mm程度移動させてください。

※ベルトの張り具合は両プーリの中央付近を手で押えて10~15mmたわむ程度が最適です。

ベルト交換

※ベルト破損の際は、当社最寄の支店・営業所へご連絡ください

- ①スイッチを入れ、変速ペダル(レバー)を最高速位置へもっていきます。

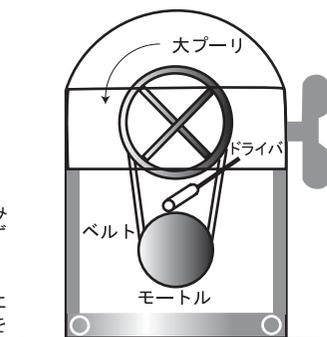
注：最低速(0回転)の状態ですwitchを切りますと、テーブルがロックされます。

- ②スイッチを切り電源コードを抜きます。

- ③ケースを図のように倒します。

- ④大プーリとベルトの間に図のようにドライバ等をはさみ手で大プーリを反時計(矢印)方向に回してベルトをはずします。

- ⑤新しいベルトの取付けは、先にモーター側の小プーリにベルトを掛け、次に大プーリを手で回しながらベルトを組み込みます。



ニデックドライブテクノロジー株式会社

各種 WEB ページご案内



お電話・問合せフォームでのお問い合わせはこちら
<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/>



国内外営業拠点情報
<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/>

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

ニデックドライブテクノロジー株式会社

日本電産シンボ株式会社は 2023年4月1日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました

作業が終わったら

使用後は変速ペダルをSTOPの位置まで完全に戻し、スイッチをOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。

ご確認

★開梱時には以下のものが梱包されているか、まずご確認ください。

工具



Lスパナ 1個
(変速ペダルの取付時に使用します)

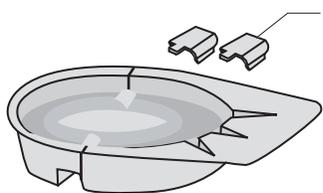


両口スパナ(13×10) 1個

付属部品



変速ペダル(レバー付)
1個



ドベ受け1個(クリップ2個付)

各部の名称と仕様

RK-2Pプロは変速駆動部にRX無段変速機を搭載しています。そのため、メンテナンスフリーで長期間壊れにくく、250Wクラスでは最高の低速域・高トルクが得られます。

各部の名称



仕様

機種	RK-2Pプロ
使用モートル	250W 単相100V(電灯線用)又は三相200V(動力線用)
変速機構	RX無段変速機搭載
変速操作方式	レバー、ペダル両方装備(連動式)
ターンテーブル回転数	50Hz:0~200回転/分 60Hz:0~240回転/分 (無段変速)
ターンテーブル回転方向	スイッチ切換えで右回り、左回りとも可能
ターンテーブル径	300mm(軽合金鋳物製)
外形寸法	幅550×奥行640×高485mm
質量	49g

【安全にお使いいただくために】

据付、運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」及び「注意」として区分してあります。



警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。

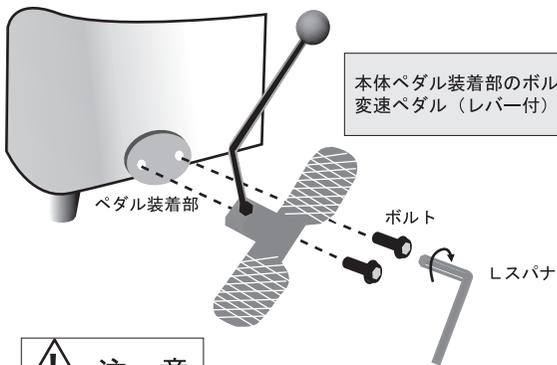


注意

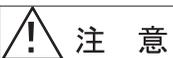
取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

1. 据付け

1. ペダル(レバー付)を取り付けます。



本体ペダル装着部のボルトを付属のLスパナではなくて変速ペダル(レバー付)を本体に取り付けてください。



注意

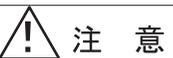
2. しっかりした所に、がたつきのないように据付けます。

据付け状態が悪いと、振動や騒音が増大される恐れがあります。確実に据付けてください。



①据付け場所はコンクリート床が理想的です。木張りの床は振動や音が大きくでることがありますので注意してください。

②付属の両口スパナでロックナットをゆるめて、高さ調節アシを回し、ろくにガタツキがないようにしてください。調節が終わったらロックナットを締付けます。



注意

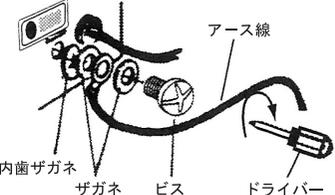
3. アース線の取付けについて

感電防止のため、必ずアースを取り付けてください。

※アース線、アース棒は付属されておりません。市販のものをご購入のうえ、ご使用ください。※アースの取り付けは電気工事店へ依頼してください。(有料)

単相のアース線(別売)の取付けは以下のように行ってください。

アース線は本体側面のアース線取り付け部に接続してください。

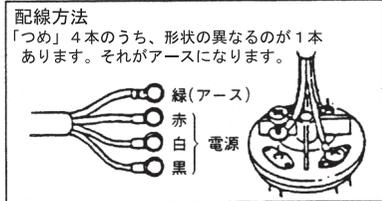


アースはアース付きコンセントのアース端子に接続するか、アース棒を使用し地面に埋めてください。

次の場所にはアース線を接続しないでください。
水道管
ガス管(引火や爆発の恐れがあります)

三相のアース線の取付け

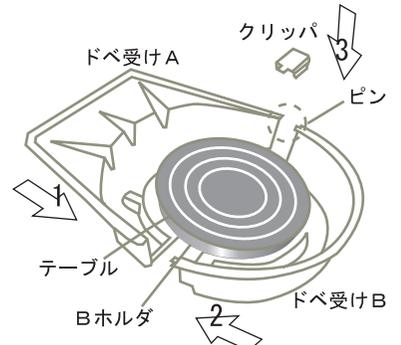
コード先端は右図のように、アース線(緑)を含めて4本となっています。プラグに接続される場合、「つめ」が4本と3本の2種類がありますが、なるべく4本のものを使用してください。3本つめで使用される場合はアースをとってください。



4. ドベ受けを取り付けます。

- ①ドベ受けAをBホルダの下部に切り込んである溝に差し込みます。
- ②ドベ受けBを同じくBホルダの溝に差し込みます。(このときにピンをドベ受けAのフチに入れてください)
- ③クリップでドベ受けAとBとを固定します。(2箇所)

※ドベ受けを取り外して水洗いする際は、クリップを紛失しないようご注意ください。



警告

5. タコ足配線はしないでください。

同一コンセントで、他の電気器具の電源にも使用すると、過電流が流れ、熱をもち火災のおそれがあります。



2. 運転

！ 初めのご使用時は、必ずならし運転を行なってください

ご購入時の最初の運転時のみ、トントン又はゴトゴトという音が発生することがあります。その場合は、回転方向切換スイッチを入れてペダルを高速位置にして15分間ならし運転をしてください。



警告

スイッチ操作は”濡れ手”でしないでください

濡れた手でスイッチ操作をすると感電のおそれがあります。



1. 始動

- ①電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ②モートルブレーカ(電源スイッチ)を入れます。
- ③希望回転方向に回転方向切換スイッチを入れます。

FWD—右回転 REV—左回転

※ペダルが、STOPの位置にある時は、モートルは回転していますが、テーブルは回転しません。

- ④変速ペダル(レバー)を踏み込むとテーブルが回転します。

※変速ペダルを踏み込むほどテーブルは速く回り戻すと遅くなり、さらにいっぱいに戻すと停止します。

